

授業概要

科目名		作業療法評価学実習Ⅲ				授業の種類	実習	講師名			
授業回数	23	回	時間数	45	時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年	前期
【授業の目的・ねらい】 測定検査方法を学ぶ。 身体障害領域での各疾患において疾患特有の測定・検査や機能評価を学ぶ。											
【実務者経験】 作業療法士として順心リハビリテーション病院、介護老人保健施設あさざり むつみ荘等にて、身体障害領域及び老年期領域のリハビリテーションに従事。											
【授業全体の内容の概要】 作業療法における測定検査方法を実践する。 疾患特有の測定・検査や機能評価を体験する。											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 疾患の概要と、疾患特有の測定・検査や機能評価を挙げ、説明することができる。											
回数	講義内容									準備物(教材)	
1	オリエンテーション、脳血管障害・頭部外傷の概略、脳血管障害・頭部外傷の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）									教科書	
2	脳血管障害・頭部外傷の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）									教科書	
3	脊髄損傷の概略、脊髄損傷の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）									教科書	
4	脊髄損傷の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）									教科書	
5	関節リウマチの概略、関節リウマチの作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）									教科書	
6	関節リウマチの作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）									教科書	
7	摂食・嚥下障害の概略、摂食嚥下障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）									教科書	
8	摂食嚥下障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）									教科書	
9	パーキンソン病の概略、パーキンソン病の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）									教科書	
10	パーキンソン病の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）									教科書	
11	内部障害の概略、内部障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）									教科書	
12	内部障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）									教科書	
13	末梢神経障害の概略、末梢神経障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）									教科書	
14	末梢神経障害の作業療法評価（リハビリテーション評価を含む）									教科書	
15	OSCE									教科書	
16	OSCE									教科書	
17	OSCE									教科書	
18	OSCE									教科書	
19	OSCE									教科書	
20	OSCE									教科書	
21	OSCE									教科書	
22	OSCE									教科書	
23	OSCE									教科書	
	定期筆記試験										
【使用教科書・教材・参考書】 標準作業療法学 作業療法評価学 3 版 能登真一（医学書院） PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 第2版補訂版（金原出版）											
【準備学習・時間外学習】 当日授業の振り返りのため資料や教科書を確認する。											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は実技試験を50点、OSCEを50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。											